

## 新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会について

### 1 これまでの検討経過及び「(仮称)新たな博物館、美術館に関する基本構想」の策定に向けて

川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）は、考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与することを目的とし、昭和 63（1988）年に開館し、「都市と人間」を基本テーマとした博物館、美術館の複合文化施設として活動を続けてきました。

しかしながら、市民ミュージアムは開館から 30 年以上が経過し、施設の老朽化への早急な対応が不可欠となっていたところ、令和元年東日本台風により施設、設備や収蔵品が被災し、館内での展示等の活動が不可能となり、長期に渡る休館を余儀なくされています。この状況を受け、令和 3（2021）年 7 月に川崎市文化芸術振興会議から受けた答申を踏まえ、本市にとっての新たな博物館、美術館の必要性やその役割及び方向性を示した「新たな博物館、美術館に関する基本的な考え方」（以下「基本的な考え方」という。）を同年 11 月に策定しました。

今後、「基本的な考え方」を踏まえ、新たな博物館、美術館の開設に向けて、市民や地域にとって必要とされ続けるために果たすべき「使命」や、その道標としての「めざす姿」を整理するとともに、必要となる事業展開の方向性などを取りまとめた「(仮称)新たな博物館、美術館に関する基本構想」（以下「基本構想」という。）を令和 4 年度中を目途に策定する予定です。

※ 基本構想策定後、令和 5～7 年度の期間において、具体的な事業計画や施設規模等を示す基本計画を策定する予定です。

### 2 懇談会の目的

本懇談会は、基本構想の策定にあたり、新たな博物館、美術館の「使命」、「めざす姿」、事業展開の方向性と、そこから必要とされる施設等に関することについて、委員の皆様から専門的な視点又は市民の目線で本市にふさわしい博物館、美術館となるようなご意見をいただくために開催するものです。

※ 懇談会として審議・審査等を行い、本市に答申や提言をいただくものではございません。

### 3 懇談会委員

次ページ「新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会委員名簿」のとおり

### 4 懇談会の開催予定について

令和 4 年度内に 4 回程度開催予定

## 新たな博物館、美術館に関する基本構想懇談会委員名簿

(敬称略、五十音順：令和4年5月31日時点)

有識者	いなにわ さわこ 稲庭 彩和子	国立美術館本部主任研究員
	かきうち えみこ 垣内 恵美子	政策研究大学院大学名誉教授 川崎市文化芸術振興会議会長
	さとう しんや 佐藤 慎也	日本大学理工学部教授 八戸市美術館館長
	たかの あきひこ 高野 明彦	国立情報学研究所名誉教授
	たなか ともあき 田中 友章	明治大学理工学部建築学科教授 「エコシティたかつ」推進会議副委員長
	にしかわ こうへい 西川 広平	中央大学文学部教授
	やぎはし のぶひろ 八木橋 伸浩	玉川大学リベラルアーツ学部教授 川崎市文化財審議会委員
公募市民	さいとう きみ 齋藤 希実	公募市民
	ほさか ようこ 保坂 陽子	公募市民